

港の風

vol. 45
2020.8.20

神戸港からのたより

PORT OF KOBE



CONTENTS

神戸海洋博物館リニューアル ————— 01

カワサキワールドだより ————— 05

特集 液体水素運搬船「すいそふろんていあ」誕生—06

人みなと————— 10

神戸運輸監理部長 石原 彰さん

神戸空港NEWS ————— 11

神戸港TOPICS ————— 12



銀河丸

「港の風～神戸港からのたより」

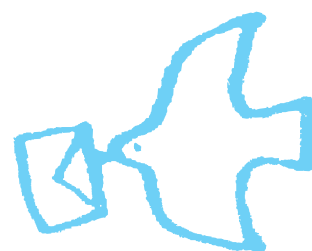
編集・発行 一般財団法人 神戸観光局 港湾振興部

〒650-0042 神戸市中央区波止場町2番2号

電話 078 (327) 8981 FAX 078 (332) 4739

<http://kobe-meriken.or.jp>

発行日 令和2年8月20日



○ 新しくなった

神戸海洋博物館で 「うみ・ふね・みなと」を体験

つながる港
つながる未来
暮らし広がる

海・船・港のミュージアム

KOBE MARITIME MUSEUM



神戸海洋博物館
KOBE MARITIME MUSEUM

©Forward Stroke inc.

2020年2月、全面リニューアル!

「神戸開港120年」を記念して1987年に開館した「神戸海洋博物館」は、神戸市民をはじめ多くの皆様にご利用いただいています。この度、当館は「神戸とみなとのあゆみ」をテーマに、港の発展と神戸港の関わりを伝え、未来の海事人材の育成に寄与する施設として、全面リニューアルしました。

千数百年の昔から天然の良港として栄え、中国大陸や朝鮮半島との交易の窓口として、また瀬戸内の海の

要衝として、歴史上重要な役割を果たして来た「神戸」の歴史、海・船・港の過去・現在・未来を展示した総合博物館としての役割を受け継ぎながら、映像技術を用いた展示や、体験型コンテンツも充実させてさらに魅力をアップさせました。

大人も子どもも「見て学んで体験する」ことで、海・船・港にさらに親しみ、関心が増すこと間違いなしの、新しい神戸海洋博物館の見所を紹介します。

海・船・港のミュージアム

神戸港、船の歴史を知る

「神戸港 開港150年シアター」は、ロドニー号とホール全体をプロジェクションマッピングの映像×音の演出で包み込みます。

神戸港が開港するまでの150年の航海のあゆみを、映像とロドニー号のコラボレーションの世界観に浸りながら学べる空間に生まれ変わりました。

神戸港は、1868年1月1日（慶応3年12月7日）世界に向けて開港。この日、英米仏の外国艦船18隻のうち、ロドニー号は、イギリス艦船12隻の旗艦として神戸に来航し、21発の礼砲を放ち神戸の開港を祝いました。この模型は、英国国立海事博物館が所蔵する建設当時の設計図をもとに、1/8縮尺模型として復元されたものです。



神戸港
開港150年
シアター



神戸港
国際交流

世界とのつながりを知る

神戸港を訪れたクルーズ客船や神戸と提携を結ぶ姉妹（友好）都市・姉妹（友好）港の紹介、神戸港とともに歩んできた神戸海洋博物館の歴史など、神戸港の国際交流を様々な角度から紹介します。



日本で初めてイタリア・ヴェネチアから
輸入された貴重なゴンドラ



船の仕事を体験する

神戸港開港から今日までの歴史や神戸港の役割と機能を伝え、操船シミュレーターなどの体験型コンテンツを通じて子どもたちに海・船・港の仕事の重要性を理解してもらうことで、未来の海事人材育成につながります。

神戸港
あゆみと
はたらき



操船シミュレーター



©Forward Stroke inc.

ガントリークレーン
シミュレーター



神戸港
行き交う
船たち



飛鳥II

クルーズ客船やコンテナ船を描いた大型壁面には、めくり式 Q&A でそれぞれの船の事を楽しみながら学べます。



ONE MINATO

©Forward Stroke inc.

神戸港から世界に広がる航路網と、港で活躍するさまざまな船をゲーム感覚で学ぶ体験装置

船を知る

神戸港から世界に広がる航路網と港で活躍する船を学ぶ体験型装置や、代表的なコンテナ船やクルーズ客船を描いた大型壁面で船への興味を惹きつけながら、国際貿易港としての神戸港を学ぶことができます。



©Forward Stroke inc.

神戸海洋博物館のここもおすすめ

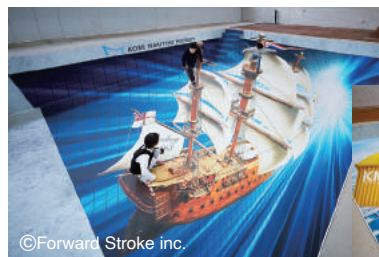
ほかにも見所たっぷりの新しい神戸海洋博物館。あなたのお気に入りのスポットを探してみてもいかがでしょう。また、幅広い年齢層のお客様に気持ちよくご利用いただくために、様々な施設やサービスをご用意しております。



1 フォトスポット紹介

屋外スペースに、新しく設置された「海の3Dフォトスポット」。メリケンパークに積まれたコンテナやロドニー号をテーマにした3Dトリックアートの中で、不思議で面白い写真撮影が楽しめます。

水兵さんをイメージしたマリニストのユニフォームでスタッフ一同お客様のお越しをお待ちしております。



2 船をイメージしたレストルーム

館内に3箇所あるレストルームは、客船内部や貨物船のコンテナなどどれも船をイメージした内装です。

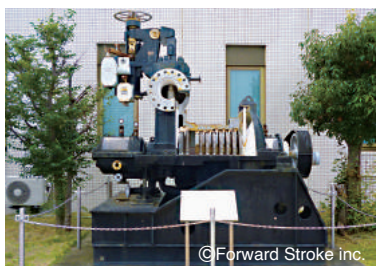


3 小さな子どもさん 車いすのご利用も安心

小さなお子様連れのお客様やご家族連れの方にも安心してご見学いただけるように、様々な設備をご用意しております。



4 屋外展示も見逃せません



メリケンパークでは、さまざまな観察やデータ採取を無人で行える自立型無人潜水機、大阪商船三井船舶(株)のコンテナ船「らいん丸」に搭載されていた船舶蒸気タービンエンジンの一部などを実物展示。

5 来館の思い出にギフトとして

ミュージアムショップはワクワクする新しい場所に生まれ変わりました。海や船をテーマにセレクトした、ここならではの商品を取り揃えております。



神戸海洋博物館
KOBÉ MARITIME MUSEUM

〒650-0042 兵庫県神戸市中央区波止場町2-2
TEL.078-327-8983(代)

開館時間 10:00~18:00(最終入館は17:30まで)
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館翌日振替休館)
年末・年始(12月29日~1月3日)

入館料

	大人	小人(小・中・高生)
神戸海洋博物館・カワサキワールド	900円	400円
神戸ポートタワー共通券	1300円	550円

すこやかカード(老人福祉手帳)※神戸市発行のものに限る、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご持参の方は、個人料金の半額にてご入館いただけます。(神戸ポートタワーとの共通券は対象外となります。)
神戸博物館・カワサキワールドは、「のびのびバスポート」がご利用いただけます。

カワサキワールド だより

「カワサキワールドが再オープン」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館していた神戸海洋博物館・カワサキワールドが、6月2日(火)、3か月ぶりに営業を再開しました。営業再開にあたり、川崎重工製の人共存型双腕スカロボット「duAro2」による自動検温システムを導入し、すべての来館者に検温を実施しています。

再オープンとともに展示内容も一部リニューアルしました。2019年ミラノショーでの発表後、世界中で反響を呼んでいるBIMOTAのコンセプトマシン「TESI H2」を展示しています。こ

の車両は、イタリアの高級二輪車ブランドであるBIMOTAと川崎重工グループがコラボレーションしたもので、川崎重工の「Ninja H2」のスーパーチャージャー付きエンジンが搭載されています。また、「モーターサイクルギャラリー」では、体験コーナーに「Z900RS」「Ninja 650」を新たに導入し、人気の企画展示「鈴鹿8耐優勝コーナー」「東京モーターショー2019コーナー」は2020年9月まで展示期間を延長しています。



「duAro2」による自動検温システム



BIMOTAのコンセプトマシン「TESI H2」

Kawasaki



「鈴鹿8耐優勝コーナー」

カワサキワールド
Kawasaki Good Times World

●開館時間 10:00~17:00 (入館16:30まで)

●休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合翌平日休館)、年末・年始(12月29日~1月3日)

●交通 【電車】

市営地下鉄海岸線「みなと元町駅」から徒歩約10分/JR・阪神「元町駅」から徒歩約15分/神戸高速(阪急・山陽)「花隈駅」から徒歩約15分

【車】

山陽新幹線「新神戸駅」から車で約15分/阪神高速道路京橋ランプから車で約5分/ハーバーハイウェイ新港ランプから車で約5分(周辺に有料駐車場あり)

世界初の液化水素運搬船 「すいそ ふろんていあ」が誕生



(資料提供 川崎重工業株式会社)

次世代エネルギーを活用した 「水素社会」実現へ神戸から第一歩

環境にやさしい新エネルギーとして期待される「水素」を運ぶ世界初の液化水素運搬船「すいそ ふろんていあ」が、川崎重工の神戸工場で誕生しました。2020年秋、オーストラリアで製造された液化水素を神戸に運ぶ実証事業のため竣工予定で、「水素社会」実現へと神戸から大きな一歩が踏み出されます。

「すいそ ふろんていあ」とはどんな船？

液化水素を安全に、大量に輸送

水素は利用の際、二酸化炭素(CO₂)を排出しない特性などを持つことから、次世代エネルギーとして世界的に注目されています。

「すいそ ふろんていあ」は、大量の液化された水素を安全に運ぶために開発された世界で初めての液化水素運搬船です。その命名・進水式が2019年12月11日、川崎重工(川重)神戸工場で行われました。全長116メートル、総トン数8000トン。白い船体に黒と青のラインが入った同船はファンファーレが鳴り響くなか、厳かに海上へ。見守っていた市民らから歓声と拍手がわき起こりました。約4,000人もの一般来場者、企業や行政関係者らが全国から集

まり、その関心の高さがうかがえます。

この後、同船は2020年3月7日、川重播磨工場では海上輸送用液化水素タンクを搭載しました。この専用タンクの容積は1,250立方メートルでステンレス製の二重構造となっており、マイナス253度の液化した水素を運ぶことができます。

同船は現在、川重神戸工場に戻り、船内配管などの艤装工事が行われています。日本近海での試運転を経て2020年秋頃に完成。NEDO(※)が支援する水素を「つくる」、「はこぶ・ためる」、「つかう」までの「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」において、オーストラリアから日本への液化水素海上輸送および日本での液化水素荷役の実証を行う予定です。

※NEDO: 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

水素社会実現に必要な不可欠な船

水素を次世代エネルギーとして活用するため、「すいそ ふろんていあ」が果たす役割は非常に大きいものです。本格的な「水素社会」を実現するためには、大量の水素を効率よく、安全に長距離輸送することが求められます。しかし、水素は常温では気体なので密度が小さくかさばってしまい、そのままでは長距離輸送には適していません。

そこで液体水素に着目。水素はマイナス253度の極低温にすると液化し、体積が800分の1まで減少します。体積を減らすことで貯蔵・運搬効率を飛躍的に向上させ、長距離輸送、流通においてより経済的になります。数ある方法の中でも液化水素による輸送は大変効率が良く、大量に長距離輸送を担える船が活躍することとなるのです。

「すいそ ふろんていあ」に搭載された液化水素貯蔵タンクは、真空断熱二重殻構造で、内側タンク支持部には熱伝導を抑制しつつ強度保持の可能なガラス繊維強化プラスチック(GFRP)が使われています。製造にあたっては、鹿児島県種子島のロケット基地向け液化水素タンクや、アジア初の液化天然ガス(LNG)運搬船の建造、ヘリコプターのローターブレード(GFRP)開発などから培ってきた高い技術力が活かされています。

今後、「すいそ ふろんていあ」による実証実験を重ねてデータを蓄積しながら、大型船の実用化も見据え、さらなる技術研究・開発が進められます。



世界初の液化水素運搬船「すいそ ふろんていあ」の命名・進水式。2020年秋、いよいよ実証実験へ

<主要目>

全長	116.0m
長さ(垂線間長)	109.0m
幅(型)	19.0m
深さ(型)	10.6m
満載喫水(型)	4.5m
総トン数	約8,000
貨物槽容積	約1,250m ³
推進機関	ディーゼル発電・電気推進
航海速度	約 13.0 ノット
定員	25名
船級	日本海事協会(NK)
船籍	日本
船主	技術研究組合CO2フリー-水素サプライチェーン推進機構「HySTRA」

水素 エネルギーのすごさって何？

エネルギー資源として「水素」がなぜ注目を集めているのでしょうか。

その理由は水素の持つ特性にあります。一つは熱エネルギーとして利用した際、二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガスを排出しないこと。環境にやさしいエネルギーとして、脱炭素社会、地球温暖化防止につながります。

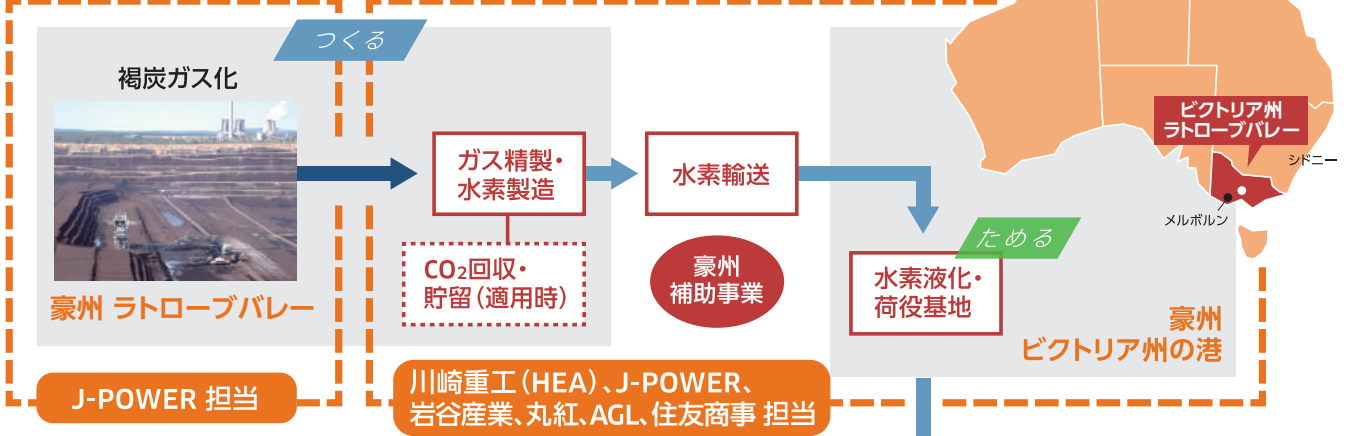
二つ目はさまざまな資源からつくりだせること。水素は宇宙全体で一番多く存在している物質です。酸素と結びついた「水(H₂O)」から取り出せることはもちろん、石油や天然ガス、メタノールやエタノールなどさまざまな資源からつくりだすことができます。

つまり、多様なエネルギー資源が利用可能となり、エネルギー供給の多くを海外に依存する日本にとって選択肢が増えます。

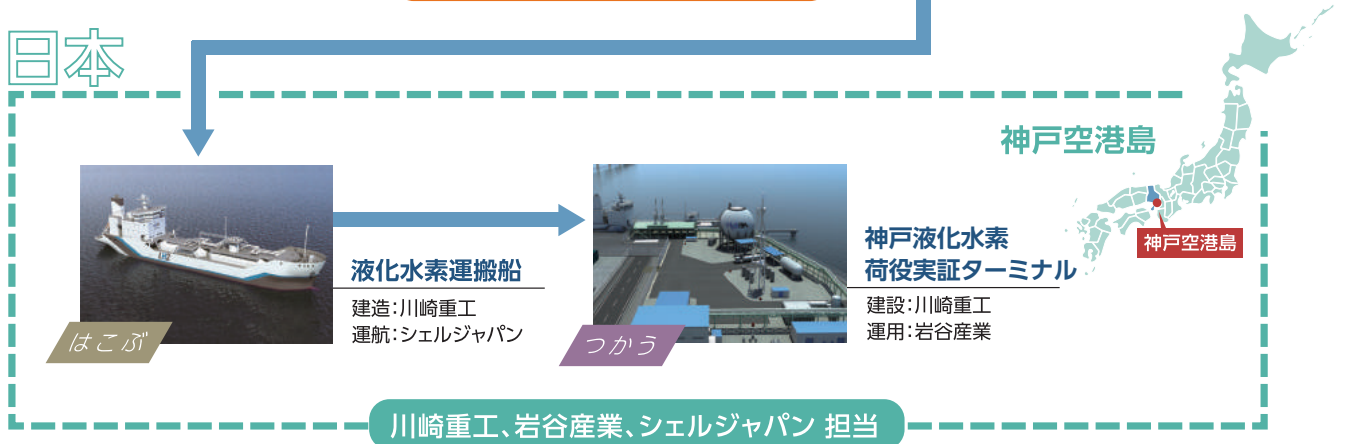
また、褐炭などの安価な未利用資源を利活用することでコストを低減することもできます。さらに、国内の資源を水素の原料として利活用できれば、エネルギー自給率アップへとつながります。

将来、水素がエネルギーの一部として私たちの暮らしを支えていくことが大いに期待されており、世界各国で取り組みが進められているのです。

豪州



日本



豪州と神戸を結ぶ水素ロードを切り拓く

「すいそ ふろんていあ」が実証実験で向かうオーストラリアは液化水素を「つくる」場です。ビクトリア州に多く存在する褐炭を活用します。あくまで理論上ですが、日本の総発電量の240年分に相当する埋蔵量というデータも出されています。褐炭は水分や不純物などを多く含む低品質の石炭で、発電効率が劣ります。また、乾燥すると発火しやすいなどの理由から輸送ができず、多くが未利用資源となっています。それだけに安価で調達でき、水素価格の低減につながります。

この褐炭から水素ガスを生成し、マイナス253度まで冷却して高純度な液体にします。その液化水素を神戸まで約9,000キロ、16日間をかけて「はこぶ」予定です。

さらに、運ばれてきた液化水素を「ためる」拠点として、神戸空港島に荷役基地も建設されています。基地には日本最大の2,500㎡級貯蔵タンクをはじ

め、船から液化水素を荷揚げするローディングアームなどの荷役設備が建設されています。

「すいそ ふろんていあ」の竣工は、こうした生産地と消費地を結ぶ新しい水素の道、Hydrogen Road、国際サプライチェーン構築に向けて大きなステップアップとなり、水素社会実現への期待がさらに高まります。



神戸空港島の神戸液化水素荷役実証ターミナル

世界初 市街地で水素100%の熱電供給を達成

水素を燃料として発電した電気や熱を供給する実証実験が、神戸ポートアイランドで始まっています。

この取り組みは、ポートアイランドの旧港島クリーンセンター跡地に建つプラント「水素コージェネレーションシステム」(水素と天然ガスを燃料とする1メガワット級ガスタービンを核とした熱電併給システム)にて、NEDOの支援で行われています。川重と大林組が2017年12月に建設したものです。発電装置を使って電気をつくり、さらに、発電時に排出される熱を回収し蒸気を発生させることで給湯や暖房などに利用します。

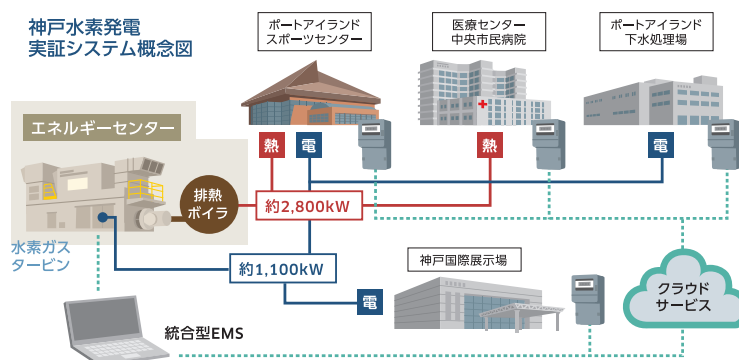
2018年1月から試験運転を開始。同年4月には、水素100%の運転を実施し、二酸化炭素(CO₂)を出さない水素のみで発電した電気と熱を供給するこ

とに初めて成功しました。市街地で成功したのは世界で初めてです。中央市民病院とポートアイランドスポーツセンターの2施設に最大で約2,800kWの熱を、さらに神戸国際展示場とポートアイランド処理場も加えた4施設に合計約1,100kWの電気を供給することができます。

その後も実証試験を重ねて季節ごとの各種データ取得などを行いました。燃料となる水素、天然ガス、そこから生み出される電気と熱を総合的に管理し、未来の豊かで安全な暮らしを支えるために最適なエネルギー制御・供給システムの確立を目指しています。



ポートアイランドに建つプラント
「水素コージェネレーションシステム」



神戸水素発電実証システム概念図

ガスタービンから、水素のみで発電した電気と熱を4施設へと供給することに成功

(資料提供 川崎重工業株式会社)

「水素スマートシティ神戸構想」を展開

神戸市は、「水素スマートシティ神戸構想」を掲げ、水素の利活用拡大のため、さまざまな取り組みを民間企業や研究機関とともに進めており、先進的な地域として注目されています。

水素サプライチェーン構築実証事業や水素エネルギー利用システムの開発事業の他、水素と酸素を反応させ電気を作りモーターで駆動する燃料電池自動車(FCV)に水素供給する水素ステーションの整備(兵庫区七宮町で1カ所稼働)を行っています。

また、燃料電池自動車を関西の自治体で初めて導入、次世代の環境適合自動車や家庭用燃料電池(エネ

ファーム)の導入補助を行うなど、クリーンなエネルギー普及のため力を注いでいます。



海事を中心に自動車、観光など、兵庫県下の交通運輸行政を一体的に担う神戸運輸監理部。今年4月、神戸運輸監理部長に就任された石原彰さんにお話をうかがいました。



神戸運輸監理部長
石原 彰さん

幼少時から学生時代の思い出

私は昭和37年、姫路市生まれです。釣り好きな父親に連れられ、幼いころから播磨灘に親しみました。神戸へも買い物や遊びによく出かけ、にぎわいのある、美しい港町という印象でした。

中学3年の夏、家族や友人たちと但馬地方の日本海へ海水浴に出かけたのですが、夜は友人たちと浜辺で波音をあきることなく聞いていました。この経験から将来、海を身近に感じる仕事がしたいと考え始め、大阪府立大学工学部船舶工学科へ進学しました。

大学で学んだ船の専門家としての知識を活かし、社会の仕組みづくりに関わっていけるダイナミックな仕事をしたいと考え、昭和62年4月に運輸省に入省しました。

特に印象深い仕事

初任地の四国運輸局（香川県高松市）に配属されて以来、海事局外航課国際機関条約対策室長、海洋・環境政策課環境渉外室長など、海事関係の仕事に携わってきました。なかでも、IMO（国際海事機関）で船の安全や海洋環境保護に関する国際条約を作る仕事が長かったですね。2000～2003年の3年間はロンドンの在英大使館に赴任し、外務省の立場でも関わりました。関係各国で国際条約について議論を進め、作っていく仕事ですが、私の学んで来た技術的な知見を活かすことができました。各国代表者との交渉のむずかしさはありましたが、議論し合うことで互いの意見の隔たりがあっても合意を見出し、条約を整えることができる、そこが非常にやりがいがありました。

いずれも印象深い仕事でしたが、2001年9.11のアメリカ同時多発テロ事件の直後、いかに船のテロ対策を行うかという国際的課題に対する取り組みが鮮やかに思い出されます。ちょうどロンドンに赴任中でしたが、関係各国と協議して条約を見直し、非常に短時間で大きな改正を行いました。また、昨秋、IMO（国際海事機関）総会で2年に1回の、参加174カ国の中から理事国40カ国を選出する選挙がありました。日本は理事国であり続けているのですが、選挙の度に選挙活動を行います。今

回、日本は日頃からの貢献ぶりが高く評価されたことで、トップ当選を果たすことができ、大きな手応えを感じました。

今後の抱負

「前向きに、斬新かつ着実な行政を行う」ことを重視したいと考えています。コロナで閉塞しがちですが、まず前向きに、さらに生活も仕事も人との関わりも、今まで通りではなく新しいかたちで取り組んでいきたい。ベースは社会が円滑に動いていくよう、これまで通り着実な行政を行っていきます。

直近の具体的な取り組みとして、7月23日の「海の日」の活動があります。例年開催している海事関係功労者表彰などの行事について、今年はコロナ対策のため、YouTube配信の準備を進めています。表彰式とともに絵画展も音楽も、そして行政、民間が持つ海の映像も大いに活かして多様なイベントを動画で紹介し、海を多彩に広報します。

海の仕事をはじめ物流、運輸関係の仕事は社会を支えるために欠かせないものです。さらに神戸・阪神地区には、造船はもとより、エンジン、ポンプ、航海計器など世界的な技術を持つ企業が多く存在します。市民の皆さんにあまり知られていない、そのような働き手や仕事について情報発信し、理解を深めていただけるようにしたいと思っています。

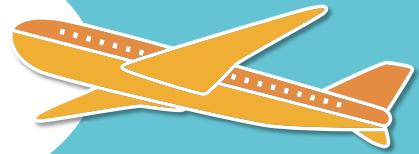
観光で神戸の新発見、再発見を

神戸はやはり美しい街ですね。海、港、まち、山が横糸で、歴史・文化が縦糸となって織り上げられている、そんな深い味わいをも出し出しています。路地裏にまで物語がある。

8月開始予定の国の「Go To キャンペーン」もありますし、感染防止を徹底しながら観光にも注力したいと考えています。まずは地元や近隣の人たちに神戸へ来て、あらためて身近に感じて新発見や再発見をしていただく。これは今だからこそできる非常に大事なことで、大きな意味があるのではないのでしょうか。

私自身もこれから神戸での発見を楽しみたいと思います。最近、デインギーやカヌーを始めて神戸の海を体感しています。

神戸空港 NEWS



航空機を安心してご利用いただくための神戸空港における取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響により、神戸空港では航空便の運休・減便が相次いでいましたが、緊急事態宣言解除後は徐々に復便し、現在は一日あたり22便運航しています。
(※7月2日時点情報)

現在神戸空港では、新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインに基づき、感染拡大の防止に向けた取り組みを進めております。具体的には、ターミナルビル内カウンター等への透明シールド等の設置や消毒液の設置、保安検査場・エスカレーター等の消毒・清掃・換気、ソーシャルディスタンス（並ぶ列や座席の間隔）の確保、利用者へマスク着用のお願といった取り組みを実施しています。

また航空機内においては、機外からの換気により約3分で機内すべての空気が入れ替わり、機内の空気は病院の手術室にも使用されている高性能なフィルターでろ過されているほか、機内サービス提供時における客室常務員のマスク・手袋着用、テーブルや肘掛け等、手が触れる場所の消毒、搭乗者へ搭乗前的手指消毒及びマスク着用をお願いを実施しています。

航空機を安心してご利用いただけるよう、神戸空港及び航空各社においては今後とも感染拡大防止に向けた取り組みを進めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、最新の運航状況については、各航空会社のホームページをご確認ください。

飛行機を安心してご利用頂くための 航空会社の取組み

Airline initiatives for passengers traveling by plane.

客室内の空気は、常に機外から新しい空気を取り入れ、約3分ですべての空気が入れ替わります。

また、機内で循環する空気は、病院の手術室にも使用されている

高性能なフィルターでろ過され、清潔に保たれています。

さらに空気は常に天井から供給され、床下に流れて滞留することはありません。

航空機は常に衛生的で清潔な環境が保たれています。

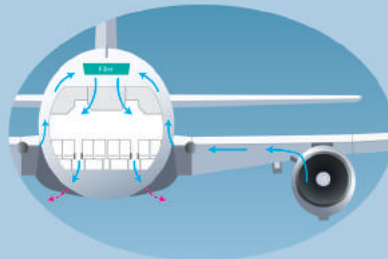
The aircraft receives ventilation through outside air, which allows for the cabin's entire air to be replaced in approximately three minutes.

In order to keep the air in the cabin clean, the cabin air is filtered and circulated through a high-performance filter which are used in the operation rooms of hospitals.

In addition, the cabin air is constantly flowing, from the ceiling to the floor.

The air in the cabin does not stay stagnant.

Airplanes are always maintained in a hygienic and clean state.



機内の空気は約3分で
すべて入れ替わります。

The cabin's entire air is replaced in approximately three minutes.

空港内のカウンター等で、
マスクの着用をしています。

We wear a facial covering in the airport such as counters.



機内サービス提供時に、
マスクや手袋の着用を
しています。

We wear gloves and a facial covering when serving in the cabin.



定期的に、チェックイン機
などの消毒を行っています。

Equipment like check-in machines, is disinfected and sterilized frequently.



定期的に、機内の消毒を
行っています。

We disinfect place where passengers frequently touch in the cabin such as overhead compartment.



感染拡大防止と安全衛生に向けて、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

We ask for your cooperation in order to prevent the disease from spreading and keep a hygienic state.



©Kansai Airports SORAYAN

定期航空協会

The Scheduled Airlines Association of JAPAN

出典：定期航空協会

神戸港 TOPICS

01

神戸シーバス KOBE RESORT CRUISE [boh boh KOBE] が 今夏就航!

01 神戸シーバス

神戸港では神戸シーバスが運航する新たな旅客船「boh boh KOBE (ボーボーコーベ)」が今年の夏より運航します。これまで約15年間多くのお客様が乗船された「FANTASY」が神戸港での運航を終え、次にその想いを受け継いだ「boh boh KOBE」が神戸港に新たな風を運びます。

こちらの船は三菱重工長崎造船所

で働く従業員を運ぶための通勤船として運航されていたもので、2019年に長崎から門司、松山を経由して神戸にやってきました。迫力のある船体は双胴船で、3層構造で3階には広々としたデッキがあります。神戸シーバスの新たな船として、爽やかな白い船体に「boh boh」のロゴがデザインされ、神戸に似合うおしゃれ可愛い船

に生まれ変わりました。海を感じられる神戸シーバスのオリジナルブランド「boh boh」のイカリのモチーフが目印です。

神戸港中突堤を出航するクルーズでは、神戸の街並みや遠方に明石海峡大橋を眺めドリンクを飲みながらゆったりと船内で過ごしたり、デッキで波の音や海風を感じながら壮大な海を見渡したり、日常から離れた特別な気分で神戸のみなとを満喫できます。また乗船記念や手土産として人気のある灘五郷の酒蔵、神戸酒心館「福寿」の酒粕を練り込んだどら焼き「KOBE Dora」や、スタッフが制服としても着用しているセーラー服をモチーフにした「boh boh Tシャツ」などのアイテムが船内でお求めいただけます。



「boh boh KOBE (ボーボーコーベ)」

港までへ少し足を運んで、ぜひご乗船してはいかがでしょうか。

本格的なセーラー制服を着た船のスタッフがお待ちしています。



窓からパノラマが展開する船内2階



医療従事者の方々に感謝の意とエールを伝える「Friday Ovation」を行う早駒グループの船(真ん中が「boh boh KOBE」)


神戸シーバス
www.kobe-seabus.com

スケジュールなどの詳細は下記よりご確認願います

お問合せ
TEL 0120-370-764 (9:00~18:00)

ウェブサイト



インスタグラム



フェイスブック



オンラインショップ



<資料提供：早駒運輸株式会社>



2020年6月30日、新門司～神戸航路に新造船『やまと』が就航しました。『やまと』は3月に新門司～神戸航路に就航しました1番船『せつつ』の姉妹船で、2番船になります。『やまと』は、長さ約195m、幅29.6m、深さ20.6m、喫水6.7m、総トン数16,292トンです。旅客定員663名トラック約

196台(12m換算)、乗用車188台の積載能力があり、荷役設備として舷側ランプ扉2基、船尾中央ランプ扉1基を搭載しています。

コンセプトは『星空と海をのぞむ癒しの旅』で、船内内装はノスタルジックな『門司港レトロ』をイメージしており、客室最上階である7階に広く開

放感のある空間を設け、船内で一番大きな窓のある海の展望台より星空と瀬戸内海の眺めとともに癒しのおもてなしをお届けします。

環境面への配慮では、新型最適船型の採用などにより在来船と比べ約6%の省エネルギーを実現。また、2020年から全海域が対象となるSox(硫黄酸化物)の排出規制への対応策として排ガス処理装置(スクラバー)を搭載しております。船室は、プライベートな空間を保つことの出来るトイレ付きのお部屋をはじめ様々なニーズにお応えした個室をご用意しております。是非、この機会にご利用ください。最後に、阪九フェリーでは、お客様が安心してご利用頂ける様に、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行っております。安心してご利用ください。



7階展望ロビー

